

コマツ コミュニケーション レポート

KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。今回は数多くのコマツのプレス機を導入し、高い生産性と品質で、多品種・多様化するお客様のニーズに応えられている、愛知県刈谷市の共栄工業株式会社様にお話を伺いました。

Vol. 49 自動車用プレス・溶接部品 / ボルト、ナット、精密切削部品製造

共栄工業株式会社

本社・工場 愛知県刈谷市東新町1丁目310番地 TEL.0566-21-6811(代) FAX.0566-22-7061
創業 1961(昭和36)年7月 代表取締役社長 野々山 勝 資本金 1000万円 従業員数 98名

トップに聞く。

『お客様第一主義』の原点

- 創立から今日に至るまでの経緯についてお聞かせください。

私はもともと、塑性加工に興味をもっていたためもあり、昭和36年に金属プレス加工を手掛ける会社として、共栄工業株式会社を設立しました。

土地柄、主に自動車部品の加工を創業以来手掛けてきましたが、今日の発展を迎えられたのも、ひとえにお得意様をはじめとして、良い方々にめぐり合えたおかげであると思っています。

- 塑性加工のどのような点に興味をお持ちだったのですか。

金属材料を所定の形状に成形する加工法には、塑性加工のほか切削加工や鋳造加工などがあります。そのなかでも、私が塑性加工を選んだ理由は、塑性加工が最も無駄の無い効率的な加工法だと思ったからです。切削加工のように、素材を削って加工するというような無駄もありませんし、金型しだいで、安定した精度の製品を大量に生産出来ます。また、塑性加工ならば素材の加工硬化をあらかじめ織り込むことにより、



代表取締役社長 野々山 勝 氏

製品の強度を高めることもできます。

このように、安価に大量生産を実現できる塑性加工技術こそ、戦後の日本を支える技術だと私は確信していたのです。

- ISOの認証取得を積極的に行われているとのことですが

弊社では、これまで ISO 9002, 9001, 14000 の認証を取得してきました。

お客様の品質に対する要求は年々高くなってきます。ですから、より高い品質を保証するためにも、その製造工程や品質管理、さらには作業環境など、様々な面を向上させていかなければなりません。これは、時代が求めていることでもあると思うのです。

ですから、ISOの認証を取得するという事は、会社にとっては、品質の勉強をおこなうということではないでしょうか。

そのため、弊社では単に規格を取得することが目的ではなく、取得するためのプロセスが重要だと思っています。

現場を捉える。

納期の厳守と最良の品質を追求したモノづくり。

工場では徹底した品質管理と原価低減意識を持ち、社員が一丸となって仕事に取り組んでいる。さらにメーカーの信頼に応えるための積極的な設備投資も推進している。



●御社の事業内容をお聞かせください。

弊社の商品の二本柱は、プレス成形品とネジ部品でして、大部分が自動車およびオートバイに使用されています。

弊社で製作しているネジは、汎用のネジではなく、自動車のタイヤを締め付けるネジなど特定用途の製品を主に手掛けています。これらは使われる部位や用途にあわせて、形状や素材がさまざまです。

●ネジ工場



一方プレス成形品は、単なるプレス加工だけでなく、金型の設計・製造から、プレス加工後の溶接・組立まで一貫した生産体制をとっています。

弊社では、単に客先の図面そのままにモノを作るのではなく、その部品の機能・用途を把握し、弊社の技術・アイデアを織り込むべく、提案型の受注活動を推進しています。

そのためにはプレス加工の技術、中でも

金型技術が非常に重要になります。

ですから弊社では金型は設計から製作まで内製化するようにし、社内に技術を蓄積するよう取り組んでいます。

また、プレス成形した部品についても、プレスだけでなく溶接や組立まで行い、弊社ならではの付加価値を付けるよう努力しています。

●金型製造設備



●アッセンブリー



●「お客様第一主義」とは具体的にどういうことでしょうか

お客様第一主義とは、すなわちお客様に信頼いただける製品をお届けすることだと考え、創業以来常に品質を最優先に考えています。

ですから、常に信頼いただける製品をお届けできるように、製造工程において高い品質を作りこむことを心がけています。

その上で、三次元測定機など様々な検査機械を導入し、徹底した出荷検査を行って



います。

また、生産現場においては、工程表とともにその日の作業者の配置もパネルに掲示し、「見える管理」を実践しています。

やはり、品質においても人が原点ですから、従業員一人一人が品質に責任を持つことが基本だと思います。



●人員配置マップ

●三次元測定機

●今回サーボプレスH1Fを導入された動機をお聞かせください。

常に高い品質を維持し、なおかつさらなるコストダウンを図っていくためには、弊社自身の生産技術、加工技術を向上させていかなければなりません。そのためには、常に新しい技術に挑戦しつづけないといけないのです。

競合他社との競争に勝っていくためには、金型技術などの技術力を高めることはもちろんですが、最新の生産設備を導入することも重要です。そこで今回、従来機をはる

かに超える性能を発揮すると聞いていたサーボプレスにより、新技術へのチャレンジを試みようと思い、コマツのACサーボプレスH1Fを導入しました。

ですが、単に新型プレスを導入しただけでは、本当の効果は見込めません。そこで今回H1Fを導入するに当たり、サーボプレスの性能・効果を把握し、今後サーボに最適な使い方を行えるよう、導入後1ヶ月間ほど生産現場にて実生産テストを実施しました。その結果は十分満足のいくもので、サーボの効果により、従来機で同じ加工を行った場合に比べ、製品精度のばらつきが約半分になったようです。

今後はさらにサーボプレスのフリーモーション機能によりこれまでの機械では困難な新しい加工にもチャレンジし、コストダウンや付加価値の向上に役立てていきたいと、活躍を楽しみにしています。



●今後の活躍が大いに期待されるACサーボプレスH1F200。

●御社の今後の展望をお聞かせください。

正直なところ、これから業界そして世の中がどのように変わるかは、はっきりわかりません。ですが、一つだけ変わらないことは、常に『人』が仕事をすることだと思います。

これから先も様々な課題が待ち受けていると思いますが、それらを乗り越えていくためには、常に人が勉強して解決していかねばなりません。

それだけではどのような素晴らしい機械でも駄目だとも思います。

そのためには、日頃から人材を育てていくことが重要です。ですから弊社では、従業員教育の一環として、社外の講習や、様々な人と交流させることにより、多くのことを学ばせています。

やはり『井の中の蛙』になってはいけません。私も、これまで様々な良い方々とのお付き合いに恵まれたおかげで、今日までやって来ることができました。

ですから若い従業員には、積極的に多くの人たちと出会い、様々なことを学んでほしいと思います。

そして、常に『お客様第一主義』を原点にして、お客様に満足していただける製品をお届けしていきたく思います。

KTS-Net

コマツとお客様を結ぶ
ネットコミュニケーション

KTS-Netとは、サーボプレスを活用して革新的なプレス加工を追求されているユーザーの方々の集まりです。皆様の情報受発信の場として、是非ご利用ください。

また、今後もこの誌面でKTS-Netのお客様をご紹介させていただきます。ご入会をご希望の方は、是非弊社のサイトをお訪問下さい。

製品紹介



H1F

コマツ ハイブリッドACサーボプレス
KOMATSU HYBRID AC SERVO PRESSES

■主要仕様

機種	単位	H1F35	H1F45	H1F60	H1F80	H1F110	H1F150	H1F200
能力	kN	350	450	600	800	1100	1500	2000
能力限界	mm	4.5	5.5	6.0	5	5	6	6
ストローク	mm	-80	-100	-120	-130	-150	-200	-250
最大ストローク数	1/min	-80	-70	-60	-75	-65	-55	-50
ダイハイト	mm	210	250	300	320	350	420	450
ストローク調整量	mm	55	60	65	80	100	100	120
ストローク寸法	左右 L/R	mm	350	400	500	550	620	700
	前後 F/B	mm	300	350	400	450	530	550
シャフト径	mm	38.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5
最大対法	左右 L/R	mm	700	800	900	1000	1100	1250
	前後 F/B	mm	400	450	550	600	680	760
	厚さ	mm	86	110	130	140	150	165
許容上型質量	kg	50	80	130	190	350	500	650

お問い合わせは

KOMATSU

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル
TEL. 03-5561-2692 FAX.03-5561-2877

インターネットアドレス <http://www.komatsusanki.co.jp/>